

五の池 小屋だよ

御嶽の夏

梅雨がなかなか明けず、とてもい歯がゆかった今年の夏。目の前に広がる赤、白、黄色と色とりどりに美しく咲く高山植物のお花畑を眺めていると、夏の到来が一段とうれしい。今日は五の池小屋近くに広がるお花畑に、カメラ片手にやってきた。

夢中になって写真を撮っていると、「クククー」と何か動物の鳴くような声が聞こえてくる。ライチョウだ！

毎年7月になると聞こえてくるこの声を僕は忘れてはいない。4、5メートル先の岩の下で、若い雌のライチョウがミヤマキンバイの花弁をついばんでいた。僕も彼女も最初はお互いはあったが、どちらも言わば御嶽山の住人。隣近所のお知り合いといったところかな。

彼女はその場を離れることもなくじっとしており、僕は1メートルくらいまで近づいて、シャッターを切ることが出来た。なかなかの美人である。おそらく彼女もまた、山の短い夏を感じているのであろう…。

真っ青な空に抜けるように稜線（りょうせん）が延びて、濁河温泉からは夏を待ちわびた登山者が額に汗を流しながら、登ってくる。飛騨頂上もこの時ばかりは沢山の人達でにぎわっている。今日は五の池小屋に泊まるお客さんも多い。夕飯の支度は大忙しである。 (写真・文市川典司)

